

一貫教育

新篠津の子どもたちの明るい15の春を目指して

～ 新篠津小中学校 一貫教育推進員より ～

新しのつ小中一貫教育 第1回全体研修会実施

2年間準備期間を経て昨年度併設型として始まった小中一貫教育。今年度で2年目となりました。「ふるさとを愛し 夢や目標をいだいて 未来を切り拓こうとする たくましい子ども」を新篠津村が目指す子ども像として、小学校・中学校の教職員や地域の方々が一丸となって小中一貫教育を進めています。



今年度最初の小中学校の教員が一堂に会した、新しのつ小中一貫教育第1回全体研修会が5月25日に、中学校で開催されました。初めに体育館で全体研修会。荒谷教育長のあいさつに引き続き、令和4年度新しのつ小中一貫教育の概要説明を中学校教頭小川琢治より行いました。この中でこれまでの取り組み、目指す姿等が確認されました。そのあと、教務・研究部会、指導・交流部会、事務部会、連携部会の4つの部会に分かれ今年度の年間計画、活動内容と進捗状況を確認し、決定しました。

今年度の小中一貫教育のスタートを切ることとなりました。CSをはじめとして学校が地域との結びつきを深め、次世代の新篠津を支える子どもたちを村全体で育てていく中心となっていきます。

第1回英語検定実施

学習意欲に応えるための取り組みが始まりました。

5月28日土曜日、中学校において今年度の第1回英語検定3級と4級を実施しました。

今回は中学生ばかりの6名の受検となりました。

どの受検者も真剣に全力で試験に臨んでいました。

このあと英検は10月と1月に行います。多数の受検をお待ちしています。



また、漢字検定を6月25日土曜日に中学校において、小学生8名、中学生4名の受検者で実施します。

7月24日には数学検定も予定しています。



小学校からつながる ICT の活用 ～中学校の実践から～

新篠津村小中一貫教育で目指す「新しのつの豊かなつながり」の「豊かなつながり 1：学びをつなぐ」について各教科の系統を踏まえた9年間を通した指導計画を基に授業を行っています。

その中で、小学校1年生から支給されているタブレットを活用した授業の充実を図ることで「豊かなつながり 2：仲間をつなぐ」という学びをさらに充実発展させているところです。



理科の調べ学習 課題解決に向け、それぞれのタブレットを駆使して調べ学習をしています。調べたことをノートにまとめる学習をしています。

英語での対話的学習 ディスプレイで全体に示された課題を、班で話し合います。課題の回答や説明だけでなく、班ごとの発表についても共有しながら学習を進めています。



国語での意見発表 国語科の意見発表の授業においては、画像を配信し、ディスプレイに示しながら主張を展開し、わかりやすく発表活動を行っています。また、仲間の発表をタブレットで撮影し、発表者に送信し、自らの学習についての効果的な振り返りを行っています。

数学少人数&TT 小学校ではTT(ティーチング)を中心に指導していた算数科の授業を、中学校の数学科においては少人数指導に加え学習支援によるTTを行い、個に応じた細かな指導の充実を図っています。



放課後学習 希望者には、学習支援員による放課後や昼休みなどの補充学習を実施しています。



コロナ対策での授業

体育館で音楽のリコーダーの学習をするなど、あらゆる学習活動において、今後も状況を見ながらコロナ対応を図りながら可能な限り学習の充実を図っていきます。

